

意外にいるぞ甲府の生きものたち!! 水辺にも、こんな所にも!?



ねらい

普段は見過ごしがちな何気ない水辺や空き地、校庭にも意外なほどたくさん生物が棲息している。身近な自然の中で健気に生きているさまざま生物を知り、自然体感アクティビティを中心とした遊びや簡単な採取活動・観察を通じて、生き物たちへの思い遣りの心や、大切さについて考える機会とすることを目的とする。

概要

水辺では手網や、サデ網などによる、いわゆる『ガサガサ』という方法で、その水辺に居る様々な生き物を採取し、観察する。また、屋外では生き物の暮らしや生態などを追体験できるようなアクティビティを用いて自然への興味と知識を高めてから生き物を探してみる。ありがちな、汚染を計るパックテストや、生物指標による調査ではなく、身近な水辺や自然の中に「こんな生き物がいたー」。そんな、発見の感動に主眼を置き、何が捕れて、何処にいたかを記録・検証することで、その自然の保全や、水や生き物と触れあえる「遊び場」としての管理などについて考える機会とする。様々な外来種についても、「NG＝駆除」という短絡的な思考ではなく、それをどうするか、どう考えるかなどにスポットを当てる。ただし、特定指定外来種に指定されている生物が採捕された場合は、届け出と併せて適切に処置する。（天然記念物などもあり得る）

※参加者が未就学児、小学校低学年の場合はライフジャケット必須

場所

開催地周辺の池や川、学校の校庭や講演なども可能

時期 (季節)

通年
(水辺は5～10月)

対象

未就学児～高校生

人数

数人～20人まで

プログラム No.17

タイムスケジュール

所要時間

2時間

2時間として設定（この限りでは無い）

0分～ 5分	講師自己紹介
5分～ 60分	採取活動・自然体感アクティビティ体験など
60分～ 90分	観察・記録
90分～110分	検証後再放流
110分～120分	まとめ・ふりかえり

参加者負担費用

要相談

持ち物・準備品

- ・水辺の場合は手網（投網は県内は禁止）、長靴（又は濡れてもよい靴。ただしサンダルは不可）、ライフジャケット、濡れても良い服装、採取記録用の用紙
 - ・自然体感の場合は帽子、バンダナ、ループなど
- ※必要な凶鑑、資料等は実施団体で準備します。

その他（特記事項）

- ・漁業権等の絡みで、網等での採捕活動が禁止されている水辺もあるため、確認が必要です。
- ・採取した生き物は、基本的に全て再放流します。
- ・この活動では「食」についての活動はしません。
- ・可能であれば、参加者分のライフジャケットの手配をお願いします。
- ・当方は水辺での救助活動が実践できるSRT-1（スイフトウォーターレスキューレベル1）の有資格者です。
- ・参加者が20名を超える場合は、必ず補助指導者が必要です。
- ・参加団体として、子どもクラブや育成会等でも可能です。

実施団体

HOOK（フック）かんきょう『協育』事務所

代表者氏名 野澤 健夫（のざわ たけお）

申込受付 Email hook.kyoiku@mx5.nns.ne.jp

代表携帯 090-2214-5938

※Emailが有り難いです。